

04 一般会計歳入

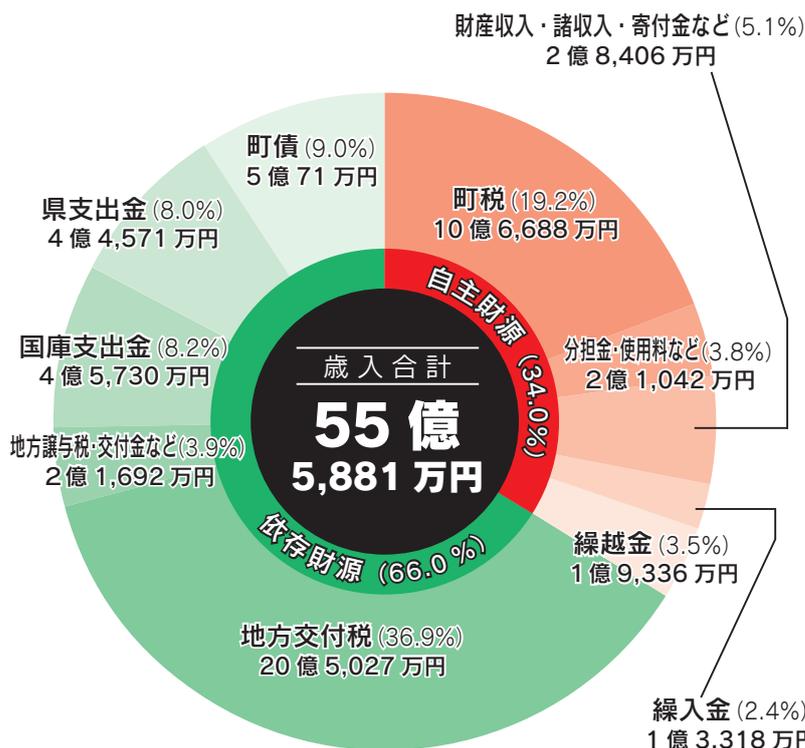
自主財源は 1 / 3、依存財源が 2 / 3

平成 24 年度の一般会計の歳入は 55 億 5,881 万円でした。その内訳は、国や県等に頼った依存財源が約 66.0%、町税などの自主財源が約 34.0%となっています。

前年度と比較すると、自主財源が 1 億 376 万円（約 1.1%）増えています。しかし、自主財源には全体の約 3.5%にあたる前年度からの繰越金 1 億 9,336 万円等が含まれているので、実際の町税などの収入は、約 30.5%という状況です。

依存財源の中で最も多い割合を占めるのが地方交付税で、20 億 5,027 万円、歳入全体の約 36.9%を占めています。

全体の 9.0%を占める町債費は、主に防災行政無線整備事業実施のため、前年度から 1 億 4,697 万円の増額となりました。



05 一般会計歳出

民生費約 35.7%について総務費が約 19.8%

平成 24 年度の一般会計の歳出は 53 億 6,103 万円でした。このうち、民生費が全体の 35.7%の 19 億 1,266 万円と最も多く、ついで総務費が 10 億 6,091 万円となっています。

前年度 7 億 9,821 万円から増加した総務費については、防災行政無線整備事業や自主防災組織への補助に使われました。また、通学路への道路照明設置など、町民の安全確保の向上のために使われました。

前年度 20 万円から増加した災害復旧費については、九州北部豪雨災害による農地を中心とした損害に対する復旧に使われました。

そのほか、商業や工業の振興などに要する経費である商工費については、平成 23 年度に引き続き、プレミアム付商品券発行事業に対する助成金の交付に使われました。

